

平成26年度 第2四半期(4月～9月累計)決算について

平成 26 年 11 月 7 日
九州旅客鉄道株式会社

1. 連結決算

(1) 経営成績

- ・ 営業収益は5期連続増収。全ての利益で増益。

(単位:億円)

	第2四半期累計期間(4月～9月)				記 事
	H25年度	H26年度	増 減	前年同期比	
営 業 収 益	1,710	1,742	32	101.9%	5期連続の増収(過去最高)
営 業 費 用	1,630	1,636	5	100.3%	
営 業 利 益	79	106	26	133.7%	2期連続の増益(過去最高)
営 業 外 損 益	70	62	△ 7	89.6%	
経 常 利 益	149	169	19	113.0%	2期連続の増益(過去最高)
特 別 損 益	1	15	13	968.6%	
四半期純利益	88	127	38	143.6%	2期連続の増益(過去最高)

- ・ 出向者人件費差額について、従来営業外費用として表示しておりましたが、前期末より営業費用として表示しております。なお、前年の数値は遡及して修正しております。

※ 連結の範囲

連結子会社 36 社(対前年度末 ± 0 社)、持分法適用関連会社 1 社(対前年度末 ± 0 社)

① 営業収益 1,742 億円 (前年同期比 + 32 億円 / 101.9 %)

- ・ 建設系会社の北陸新幹線関連工事などの減があったが、当社のマンション販売収入の増や、鉄道旅客運輸収入の増などにより増収。

② 営業費用 1,636 億円 (前年同期比 + 5 億円 / 100.3 %)

- ・ 建設系会社の売上減に伴う原価の減があったが、当社のマンション販売原価の増などにより増加。

③ 営業利益 106 億円 (前年同期比 + 26 億円 / 133.7 %)

④ 営業外損益 62 億円 (前年同期比 △ 7 億円 / 89.6 %)

- ・ 当社の経営安定基金運用収益の減などにより減少。

⑤ 経常利益 169 億円 (前年同期比 + 19 億円 / 113.0 %)

⑥ 特別損益 15 億円 (前年同期比 + 13 億円 / 968.6 %)

⑦ 四半期純利益 127 億円 (前年同期比 + 38 億円 / 143.6 %)

(2)セグメントの状況

(単位:億円)

		第2四半期累計期間(4月～9月)			
		H25年度	H26年度	増 減	前年同期比
運輸 サービス	売 上 高	851	855	3	100.4%
	営 業 利 益	△ 35	△ 17	18	—
	経 常 利 益	34	45	10	131.2%
建設	売 上 高	268	288	19	107.4%
	営 業 利 益	7	5	△ 2	67.3%
	経 常 利 益	8	6	△ 2	72.8%
駅ビル 不動産	売 上 高	260	293	32	112.5%
	営 業 利 益	90	105	15	117.4%
	経 常 利 益	89	105	15	117.6%
流通 外食	売 上 高	444	445	0	100.2%
	営 業 利 益	16	12	△ 4	75.0%
	経 常 利 益	16	12	△ 3	76.1%
その他	売 上 高	241	253	12	105.2%
	営 業 利 益	4	4	0	103.1%
	経 常 利 益	4	4	0	103.6%

(経常利益ベースでの比較)

① 運輸サービス 増 収 ・ 増 益

- ・売上高及び経常利益は、高速船運輸収入の減はあったが、当社の鉄道旅客運輸収入の増などにより増収・増益。

② 建設 増 収 ・ 減 益

- ・売上高は、駅ビル工事の増などにより増収。経常利益は、利益率の低下などにより減益。

③ 駅ビル・不動産 増 収 ・ 増 益

- ・売上高及び経常利益は、当社のマンション販売収入の増や建物賃貸収入の増などにより増収・増益。

④ 流通・外食 増 収 ・ 減 益

- ・売上高は、ファーストフード店の新規出店や農業法人の連結子会社化などにより増収。経常利益は、新規出店に伴う経費の増などにより減益。

⑤ その他 増 収 ・ 増 益

- ・売上高及び経常利益は、ブラッサム新宿の開業などによるホテルの売上高の増や建設資材収入の増などにより増収・増益。

(3)財政状態

① 資産の部 11,078 億円 (前年度末比 + 15 億円 / 100.1 %)

- ・流動資産は、未収金の減などにより153億円の減少。
- ・固定資産は、ブラッサム新宿やアミュプラザ鹿児島「プレミアム館」の開業などにより55億円の増加。
- ・経営安定基金資産は、時価評価により113億円の増加。

② 負債の部 3,521 億円 (前年度末比 △ 138 億円 / 96.2 %)

- ・流動負債は、買掛金や未払金の減などにより289億円の減少。
- ・固定負債は、長期借入金の増などにより151億円の増加。

③ 純資産の部 7,557 億円 (前年度末比 + 153 億円 / 102.1 %)

- ・純資産は、四半期純利益や経営安定基金評価差額金などにより153億円の増加。

(4)キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	第2四半期累計期間(4月～9月)			増 減
	H25年度	H26年度	増 減	
営業キャッシュ・フロー(Ⅰ)	204	278	73	税金等調整前四半期純利益の増
投資キャッシュ・フロー(Ⅱ)	△ 141	△ 372	△ 231	固定資産の取得支出の増
財務キャッシュ・フロー(Ⅲ)	112	46	△ 65	借入金の返済支出の増
増 減 (Ⅰ + Ⅱ + Ⅲ)	175	△ 47	△ 223	
期 首 残 高	127	153	26	
期 末 残 高	302	106	△ 196	

(5)平成26年度通期の連結業績予想

(単位:億円)

	H25年度 実績 (H25.4月～ H26.3月) A	H26年度 5月公表時 予想 (H26.4月～ H27.3月) B	H26年度 今回予想 (H26.4月～ H27.3月) C	増 減			
				対5月公表時予想		対前年度実績	
				金額 C-B	比率 C/B	金額 C-A	比率 C/A
営 業 収 益	3,548	3,592	3,599	7	100.2%	50	101.4%
(うち鉄道旅客運輸収入)	1,439	1,423	1,430	7	100.5%	△ 9	99.3%
営 業 利 益	90	94	94	-	100.0%	3	103.6%
経 常 利 益	212	189	204	15	107.9%	△ 8	96.2%
当 期 純 利 益	115	106	116	10	109.4%	0	100.3%

※ 業績予想は、平成26年5月公表の数値から上方修正しております。

2. 単体決算

(1) 経営成績

- ・ 営業収益は2期連続増収。全ての利益で増益。

(単位: 億円)

	第2四半期累計期間(4月～9月)				記 事
	H25年度	H26年度	増 減	前年同期比	
営 業 収 益	973	1,010	37	103.8%	2期連続の増収(過去最高)
(うち 鉄道旅客運輸収入)	715	720	4	100.7%	(過去最高)
営 業 費 用	940	940	△ 0	99.9%	
営 業 利 益	32	70	37	216.1%	2期連続の増益(過去最高)
営 業 外 損 益	83	77	△ 5	93.1%	
経 常 利 益	116	148	31	127.5%	2期連続の増益(過去最高)
特 別 損 益	0	1	0	204.4%	
四半期純利益	77	103	26	133.9%	2期連続の増益(過去最高)

- ・ 出向者人件費差額について、従来営業外費用として表示しておりましたが、前期末より営業費用として表示しております。なお、前年の数値は遡及して修正しております。

① 営業収益 1,010 億円 (前年同期比 + 37 億円 / 103.8 %)

- ・ マンション販売収入の増や、鉄道旅客運輸収入の増などにより増収。

② 営業費用 940 億円 (前年同期比 △ 0 億円 / 99.9 %)

- ・ マンション販売原価の増はあったが、人件費の減などにより減少。

③ 営業利益 70 億円 (前年同期比 + 37 億円 / 216.1 %)

④ 営業外損益 77 億円 (前年同期比 △ 5 億円 / 93.1 %)

- ・ 子会社からの受取配当金の増はあったが、経営安定基金運用収益の減などにより減少。

⑤ 経常利益 148 億円 (前年同期比 + 31 億円 / 127.5 %)

⑥ 特別損益 1 億円 (前年同期比 + 0 億円 / 204.4 %)

⑦ 四半期純利益 103 億円 (前年同期比 + 26 億円 / 133.9 %)

(2) 財政状態

① 資産の部 10,165 億円 (前年度末比 + 7 億円 / 100.1 %)

- ・ 流動資産は、未収金の減などにより131億円の減少。
- ・ 固定資産は、関連事業固定資産の増などにより26億円の増加。
- ・ 経営安定基金資産は、時価評価により113億円の増加。

② 負債の部 2,885 億円 (前年度末比 △ 146 億円 / 95.2 %)

- ・ 流動負債は、未払金の減などにより269億円の減少。
- ・ 固定負債は、長期借入金の増などにより123億円の増加。

③ 純資産の部 7,279 億円 (前年度末比 + 153 億円 / 102.2 %)

- ・ 純資産は、四半期純利益や経営安定基金評価差額金などにより153億円の増加。

(3)平成26年度通期の単体業績予想

(単位:億円)

	H25年度 実績 〔 H25.4月～ H26.3月 〕 A	H26年度 5月公表時 予想 〔 H26.4月～ H27.3月 〕 B	H26年度 今回予想 〔 H26.4月～ H27.3月 〕 C	増 減			
				対5月公表時予想		対前年度実績	
				金額 C-B	比率 C/B	金額 C-A	比率 C/A
営業収益	1,961	1,979	1,986	7	100.4%	24	101.3%
(うち 鉄道旅客運輸収入)	1,439	1,423	1,430	7	100.5%	△ 9	99.3%
営業利益	△ 19	7	7	-	100.0%	26	-
経常利益	116	112	128	16	114.3%	11	110.2%
当期純利益	72	75	86	11	114.7%	13	118.9%

※業績予想は、平成26年5月公表の数値から上方修正しております。

(4)鉄道旅客運輸収入及び輸送量の対前年比較

(単位：百万円、百万人キロ)

			第2四半期累計期間(4月～9月)			
			H25年度	H26年度	増 減	前年同期比
新幹線	定 期	収 入	1,239	1,317	78	106.3%
		人キロ	93	96	2	102.4%
	定期外	収 入	23,319	23,283	△ 36	99.8%
		人キロ	816	829	12	101.5%
	計	収 入	24,559	24,601	41	100.2%
		人キロ	910	925	14	101.6%
在来線	定 期	収 入	15,025	15,143	117	100.8%
		人キロ	2,086	2,042	△ 43	97.9%
	定期外	収 入	32,009	32,335	326	101.0%
		人キロ	1,613	1,625	12	100.8%
	計	収 入	47,034	47,478	444	100.9%
		人キロ	3,699	3,668	△ 30	99.2%
新在計	定 期	収 入	16,264	16,461	196	101.2%
		人キロ	2,180	2,139	△ 41	98.1%
	定期外	収 入	55,328	55,618	289	100.5%
		人キロ	2,429	2,455	25	101.0%
	計	収 入	71,593	72,080	486	100.7%
		人キロ	4,610	4,594	△ 16	99.7%

(単位：千人)

輸送人員 (全 社)	定 期	107,835	106,492	△ 1,342	98.8%
	定期外	55,690	55,944	254	100.5%
	計	163,525	162,437	△ 1,088	99.3%
輸送人員 (新幹線再掲)	定 期	1,213	1,245	31	102.6%
	定期外	5,044	5,174	129	102.6%
	計	6,258	6,419	161	102.6%

記載金額につきましては、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。ただし、金額以外の数字につきましては、表示単位未満を四捨五入して表示しております。